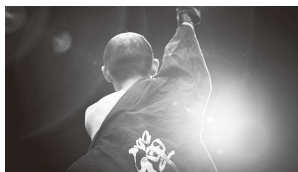


©Alfie Goodrich



©Alfie Goodrich



©Ivan Kovac

映画紹介コーナー

障害者プロレスドキュメンタリー『DOGLEGS』

2015年 アメリカ 89分 監督/撮影/編集：ヒース・カズンズ

障害者だろうと健常者だろうと、この映画はたぶん、見た人のなかに存在する“無意識の壁”に突き刺さる。

創立から25年、障害者プロレス集団「ドッグレッグス」のスター選手・サンボ慎太郎の日常を5年にわたって追ったドキュメントには、“障害者の姿”ではなく、1人の人間が普通に生きる様が描かれる。

慎太郎たちは恋もするし、酒も好む。リングの上で闘うことが大好きで、観客の声援に応えようと奮闘し、負けると心底悔しがる。人としての欲求、欲望は、心身いずこに障害があっても何も変わりはない。障害者だからやっちゃいけないことなんて1つも無い。特別視しているのは赤の他人である周囲だ。

リングに上がれば無用な手加減はない。リングアナのコメントも、辛辣でツボを得て、観客をわかせる。「ドッグレッグス」をフィールドワーク中の女性研究者は、彼らの戦い方をこう表現する。「本気で向かってきなよ」「本気で応えるから」。手加減することはかえって失礼なのだ。

これ見よがしなセリフやメッセージの押し売りはどこにもない。同じくリングに上がるアルコール中毒のラマンさん、ミセスラマンさん、うつ病の中嶋さんなどの選手たちにも、それぞれにプロレスをする理由がある。彼らを見てみると、人間の強さとたくましさ、優しさ、そして人に囲まれて生きることの幸せが伝わってくる。

(ライター：石射弥生)

【上映情報】 映画公式サイト <http://doglegsmovie.com/ja/>

東京都内ではボレポレ東中野 (TEL03-3362-0081)、下北沢トリウッド (TEL03-3414-0433) で2016年1月9日から上映開始。ほかに愛知県、大阪府、京都府、神奈川県、新潟県、石川県、広島県、沖縄県、兵庫県で順次上映。